事及び公園北側に位置するシンボルプラザ広場の整備を進めてまいります。

集落内の環境整備については、大名地内の排水路整備に取り組んでまいります。

下水道事業については、引き続き津嘉山北土地区画整理事業区域を重点として、与那覇地域、宮平地域の整備を進めると共に、照屋・喜屋武・本部地域の早期供用に向け、幹線の整備を順次進めてまいります。雨水整備においては、現在取り組んでいます津嘉山、照屋、新川地内の整備を進めて浸水解消に努めてまいります。

普及促進については、国の補助制度の活用を継続し公共下水道及び農業集落排水への接続促進に努めます。

環境と共生する美しく住みよいまちについて

住み良い住環境をめざした循環型社会促進のため、「はえばる版リサイクルループ」事業を中心に、町民、NPO、企業・事業所等との連携及び情報共有によるさらなる持続と発展のため、ごみの分別徹底に関する普及・啓発を進め、ごみの減量・資源化の取り組みを推進してまいります。また、「はえばるエコセンター」を活用した各種環境講座、次代を担う子どもたちへ学校との連携による環境学習支援事業を実施し、環境意識の高揚を図ってまいります。

ごみの不法投棄等については、町内の不法投棄発生箇所を中心にパトロールを行うとともに、立て看板等を設置し生活環境の保全に努めてまいります。

沖縄の貴重な自然環境を残し、エコアイランド沖縄を目指すため、町民の具体的な活動への支援と環境意識の啓発を図ってまいります。また、「南風原町地球温暖化防止実行計画」、「南風原町地域新エネルギービジョン」に基づき公共施設等の省エネ対策を進め温室効果ガスの排出抑制を積極的に推進してまいります。また、町内の防犯灯についても、省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の実現を図るため、既設防犯灯の水銀灯や蛍光灯をLED灯に切り替え、温室効果ガスの排出抑制を推進してまいります。

第五次総合計画策定に向けた「まちづくり住民会議」

町民の生活に密接した悪臭、騒音、水質汚濁、振動等の公害問題については、各関係機関と連携し生活環境の保全に努めてまいります。

これまで、総合計画のまちづくり目標に沿ってご説明しましたが、第四次総合計画の期間終了が平成28年度であることから、平成29年度からの次期、第五次南風原町総合計画の策定にあたっては、住民との協働により全庁体制で鋭意取り組んでまいります。

健全な行財政運営について

多様化する行政ニーズを的確に捉え、町民が満足できるような質の高い行政サービスを提供していくことが行政の重要な役割です。それを実現するためには、柔軟に対応できる人材が不可欠です。そのためには、職員一人ひとりが自らの能力を高め最大限に発揮していく必要があります。そのような認識のもと住民満足度向上のため、「南風原町人材育成基本方針」に基づく職員人材育成を推進します。

予算編成について

平成 28年度の予算編成については、第四次南風原町総合計画に掲げた「ともにつくる黄金南風の平和郷」の実現を目指し、「一括交付金」を活用した予算編成を行っております。

今後も引き続き、子育て支援・教育の充実を図り、福祉向上、産業振興等、町民ニーズに応えた事業を実施し「子育てするなら南風原町、ずっと住みたい南風原町」のブランド力を高めてまいります。

本年度の各会計予算編成の内訳は、

一般会計	13,268,900千円
特別会計	8,004,101千円
全会計合計	21,273,001千円

となっております。

おわりに

以上、平成28年度の町政運営についての考え方と主要施策の概要などについて述べてまいりました。

平成 27年9月に実施した「第五次南風原町総合計画策定に向けたアンケート」において、「お年寄りや体の不自由な方もみんなが安心して暮らせるまち」、「災害や犯罪が少なく、対策が整っている安全・安心なまち」との声が多く寄せられました。これを受けて町民一人ひとりが幸せを実感でき安全・安心して生活を営み、誰もが住んでいることを誇りに思える『日本で一番光輝くまち、南風原町』の実現を目指して全職員一丸となって、創意工夫を重ね、さらなる挑戦と成長を続け情熱をもって、全力を尽くしてまいります。

予算以外の審議案件として、議案8件、また、追加議案として数件提出する予定であります。平成27年度補正予算の議案については、先議案件とさせていただき議員各位の慎重なるご審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げ、私の施政方針といたします。

平成28年3月2日

南風原町長　城間俊安

南風原町でキャンプを行った名古屋グランパスの選手ら